

新年のごあいさつ



美郷町長

松田 知己

明けましておめでとうございます。皆さんにはいろんな出来事があった昨年を振り返り、改めて一年の重さを実感するとともに、清々しい期待と決意をもって今年を展望されているものと存じます。私も、いろんな事柄を乗り越えて一つ輪を重ねたことを自信に、今年一年を展望しているところです。

さて昨年は皆さんご存知のとおり、美郷町にとっては大きな一年でした。皆さんのご理解とご協力のもと、「美郷町公共施設再編計画」に基づく役場庁舎や公民館、保健センターの統合や空いた役場庁舎の他団体への貸与などを実現したほか、「美郷町学校再編計画」に基づく六郷小学校と六郷東根小学校の統合など、行政基盤の根幹に係る体制整備を推進した年でした。また、町づくり施策としても、平成22年度から5カ年間の町総合計画「後期基本計画」をスタートさせ、5つの戦略プロジェクトを中心に、地販地消「行灯」

の設置や緊急時に備えた「みさと安心パック」の配布、C.W. ニコルさんを迎えた「水の郷シンポジウム」や子供たちのミュージカル観劇の開催など、美郷での生活に充実を感じていただく施策などでも、一定の意義を持つ年でした。

こうした流れを踏まえた平成23年は、引き続き「住み良さの実感」を求めて各般にわたる施策を展開してまいります。まずは公共施設再編計画に基づき、より充実した図書環境の構築に向けた図書室の学友館統合と学友館の改修に着手したいほか、学校再編計画に基づき美郷中学校の開校準備や統合により空いてくる小・中学校の活用方途の明確化、そして町内に3ヶ所ある温泉の今後のあり方についても明確化してまいります。また、現在の状況を踏まえて、農業や商業、工業それぞれで元気の出る取り組みを推進したいほか、名水百選の地域が美郷町に集う「全国名水サ



新年のごあいさつ



美郷町議会議長

高橋 猛

新年明けましておめでとうございます。気持ちも新たに新春をお迎えのことと存じます。

「美郷町ええなあ〜」そんな話を町内外の色々な立場の人から言われることが多くありました。合併して7年、町では財政健全化、公共施設再編等、合併自治体に課せられたハードルを着実にクリアしてきているわけですが、このことは一体となって取り組んだ結果であり、町民アンケートの中で、8割ぐらいの方々が「満足、概ね満足している」と回答していただいていることが物語っていると思います。議会も色々な改革、取り組みをしてきましたが、中でも住民との交流、直接対話というところで行っております「住民との懇談会」は趣向を変えながら実施してきた結果、出席者が回を重ねるごとに増えている状況で、「また来て欲しい」と言われることもあり、今後も会合の充実を図りながら、できるだけ多くの会場に足を運べるよう継続してまいり

たいと思います。

ところで、以前に『平均年収2,500万円円の農村』と題された記事を目にしたことがありました。衝撃的な見出しに驚き、記事に目を通して唸りました。「これはぜひ一度、現地に行ってみたい」と思っていたところ、昨年、議会の研修で実現できました。ご存知の方も多いかと思いますが、長野県の川上村という人口4,700人余りの村ですが、レタスを中心とした高原野菜を栽培していて、その販売収入が一戸平均にすると2,500万円ぐらいになるといいます。若い後継者も育っていて、人口は増えており、出生率全国トップクラスという羨ましい村でした。

わが美郷町の農業生産額はというと、農水省の生産農業所得統計（平成18年）によると約73億円で、一戸平均にすると240万円ぐらいのようであり、平成6年に比較すると45%の落ち込みであります。原因は転作が



「ミット」の開催や大田区との交流拡大による地域活力の向上などにも力を注ぎたい考えです。さらに、道路などの整備や学童保育の学年延長に向けた取り組み、ワクチン接種も含めた健康対策など、皆さんに要望されている施策にも取り組む所存です。

もちろん、こうした取り組みにはそれを支える財源をセットで考える必要がありますので、財政の将来も見据えた認識のもと、美郷の身の丈を意識した展開を基本に取り組みまいります。こうした姿勢のもと、引き続き美郷の発展に向けて、今年も持てる最大限の力を全職員とともに発揮し、がんばってまいりますので、皆さんにはご理解とご協力をお願いいたします。

「ダイヤモンド・ダスト」。あの輝きは厳しい冬しか見ることができません。「この環境だからこそ輝ける要素が美郷にもある」と私は信じております。

増えていることとありますが、米の依存度が大きいことにあります（生産額の約8割は米）。米価が激落し、転作がさらに増える中で、視点を代えて収益性のある作物に切り替えていくことが肝要だと思います。反当り所得換算にすると米は低いランクであり、所得を上げられる作物は他にたくさんあります。町内でも色々な所得の高い農業に取り組んでいる農家もありますが、町全体からすると少ない状況です。かつて旧三町村で農業生産額が130億円を超える時代がありました。取り巻く環境もかなり変わってきておりますが、その気になれば可能性はあります。農業をいかに再生できるかということも地域活性化のキーワードのひとつだと思います。